

導入時の立ち上げについて

好気性発酵を促す微生物の好む含水率は、30～60%程度です。
 あらかじめ槽内に水分調整材（含水率 10～20%）を投入しておき、生ごみ（含水率 90%）が混合させることにより、適正な含水率としております。



写真一起動ボタン

- 水分調整材を槽内 3 分 1 程度投入し、
 発酵促進菌を残渣投入量の 1 % 投入。
 起動ボタンを押す。
 以上で立上げ作業は終了。

微生物の反応速度は 30% 付近から 60% までは比較的良好です。
 しかし、60% を超えると微生物に酸素を供給できず、急激に反応速度が低下します。
 生ごみ処理機内の含水率は、60% に近づけることは必要ですが、超えてしまうことは避けないとはいけません。

生ゴミの過剰な投入は、生ごみ処理機内の含水率を高める原因となります。

生ごみ処理機のトラブルの多くは、過剰投入が原因となっております。

機種選定の際は、最大排出量にあわせて機種選定が必要です。

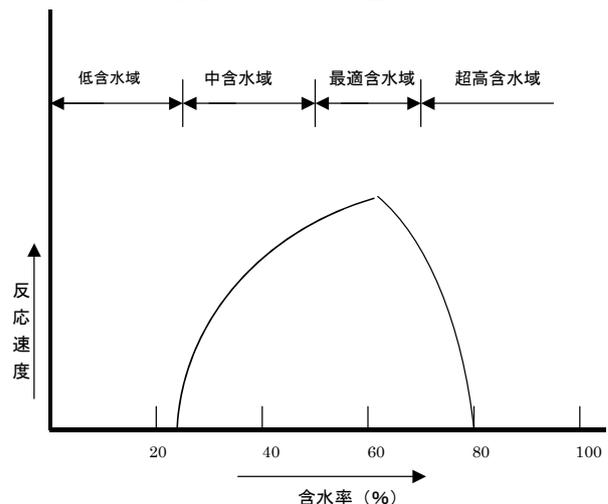


図 含水率と微生物反応速度

*弊社では、生ゴミ投入量の変動に強い二槽式をラインナップしております。
 生ゴミ排出量の変動が大きい場合は、二槽式をお勧めいたします。